

琉球大学学術リポジトリ

[短報] I S S C T第13回会議に出席して

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東, 清二 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015245

ISSCT第13回会議に出席して

International Society of Sugar Cane Technologist
13回会議は今年3月、台湾の台北において開かれたが、
参考までに会議のもようについて説明しておきたい。

会議のスケール：43か国（台湾、オーストラリア、アメリカ、バーバドス、モリシャス、デンマーク、ジャマイカ、フィリピン、ドイツ、イラク、プエルトルコ、日本、シンガポール、セイロン、カナダ、スイス、チェコスロバキア、韓国、ベネズエラ、スウェーデン、ドミニカ、メキシコ、ギアナ、南アフリカ、マラヤ、レ・ユニオン、イラン、コロンビア、タイ、イギリス、フランスウガンダ、パキスタン、ホンコン、ベルギー、インド、ケニヤ、スーダン、ブラジル、インドネシア、オランダフィジー、琉球）から472人参加したが、開催地台湾の準備員、参加者の同伴者も加えると600人以上にのぼる会議であった。

日程：3月3日～10日は各地の視察およびデモンストレーションが行なわれ、3月11、12日は(1)さとうきびの増産について、(2)Diffusionについて、(3)工場の自動化について、(4)さとう生産の分業化について、(5)職員の教育と糖業発展についてのシンポジウムが行なわれ、13日～16日は(1)栽培、(2)育種、(3)農業機械、(4)病理、(5)昆虫(6)製糖機械、(7)製糖工程、(8)副産物の分科会にわかれての講演があり、16日の午後に総会と閉会式があった。

沖縄からの参加者：宮里清松（琉大、栽培）、稲福清彦（石垣島製糖、育種栽培）、高良鉄夫（琉大、昆虫）垣花郁夫（北部製糖、製糖）、内原彪（農試、育種）、国吉真政（琉球製糖、農業機械）、又吉盛彦（琉球製糖製糖）、東清二（農試、昆虫）、下地明高（宮古製糖、製糖機械）、東村長造（第一製糖、製糖）、仲宗根正賢（第一製糖、製糖機械）、下地啓次（農連、栽培）、大浜政俊（中部製糖、製糖機械）の14氏が参加し、高良と東は昆虫分科会において Important Insect Pests Affecting Sugar Cane and Problems on Their Control in the Ryuhyu Islands と題して講演した。

ISSCT会議への沖縄からの参加は今回が初めてであり、会議に提出された各国の研究成果を入手し得たことは勿論、サトウキビ生産国の多くの方と話し合いができたこと、今後の交流についてわたりをつけたことは参加者の何よりの収穫であった。